蒲原宿

東海道二峠六宿

旧五十嵐邸

YouTube　蒲原宿を映像で紹介しています！

東海道
15番目の宿場
「蒲原宿」

https://youtu.be/X84SgrhPpdI

東海道 山部赤人がうたった
「田子の浦ゆ 打ち出でてみれば～」
は蒲原宿…

https://youtu.be/IWL0_NML0hI

東海道
富士川～蒲原宿西木戸

https://youtu.be/iyB05cS5-j8

渡邊邸古文書

二峠六宿道旅推進実行委員会
令和元年度文化芸術振興補助金

田子の浦ゆ
うち出でてみれば真白にぞ
富士の高嶺に雪はふりける

山部赤人

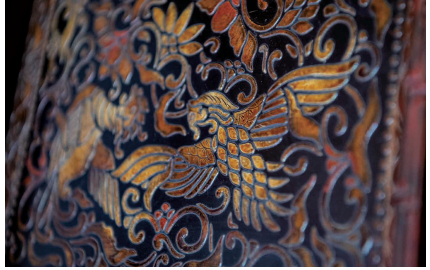
東海道15番目の宿場です。蒲原宿は富士川の西に位置し、川の渡船で間の宿岩淵とともに繁栄しました。1300年前、奈良時代を代表する歌人山部赤人が雄大な富士山を詠った有名なこの歌は蒲原宿の吹上の浜で詠ったといわれています。宿場には山部赤人を祭神とする和歌宮神社もあり、地域では今も守り伝えています。

広重の東海道の作品の中でも傑作の１つ。雪が降る夜の宿場。静寂さが伝わってきます

東海道 蒲原 の見どころ

高波により1701年に現在の位置に宿場を移してから、その町割りは変わらず残っています。約1.2kmの宿場には江戸、明治、大正、昭和、それぞれの時代の建物が点在し、宿場の面影を残しています。人の暮らしのなかに季節の楽しみ、歳時などが継承されています。

富士川の護岸で干されている桜エビ



古代塗り
江戸末期に蒲原宿で始められた漆器。第二次大戦で職人を失い、つくられなくなりました

旅籠和泉屋
1830年、江戸末期に建てられた旅籠泉屋。現在は1つの建物を2つに分けて、お休み処として公開しています

吉田邸
明治時代に建てられたなまこ壁が特徴的な町屋で、屋号は「僊菓堂」。和菓子を商う商家でした。

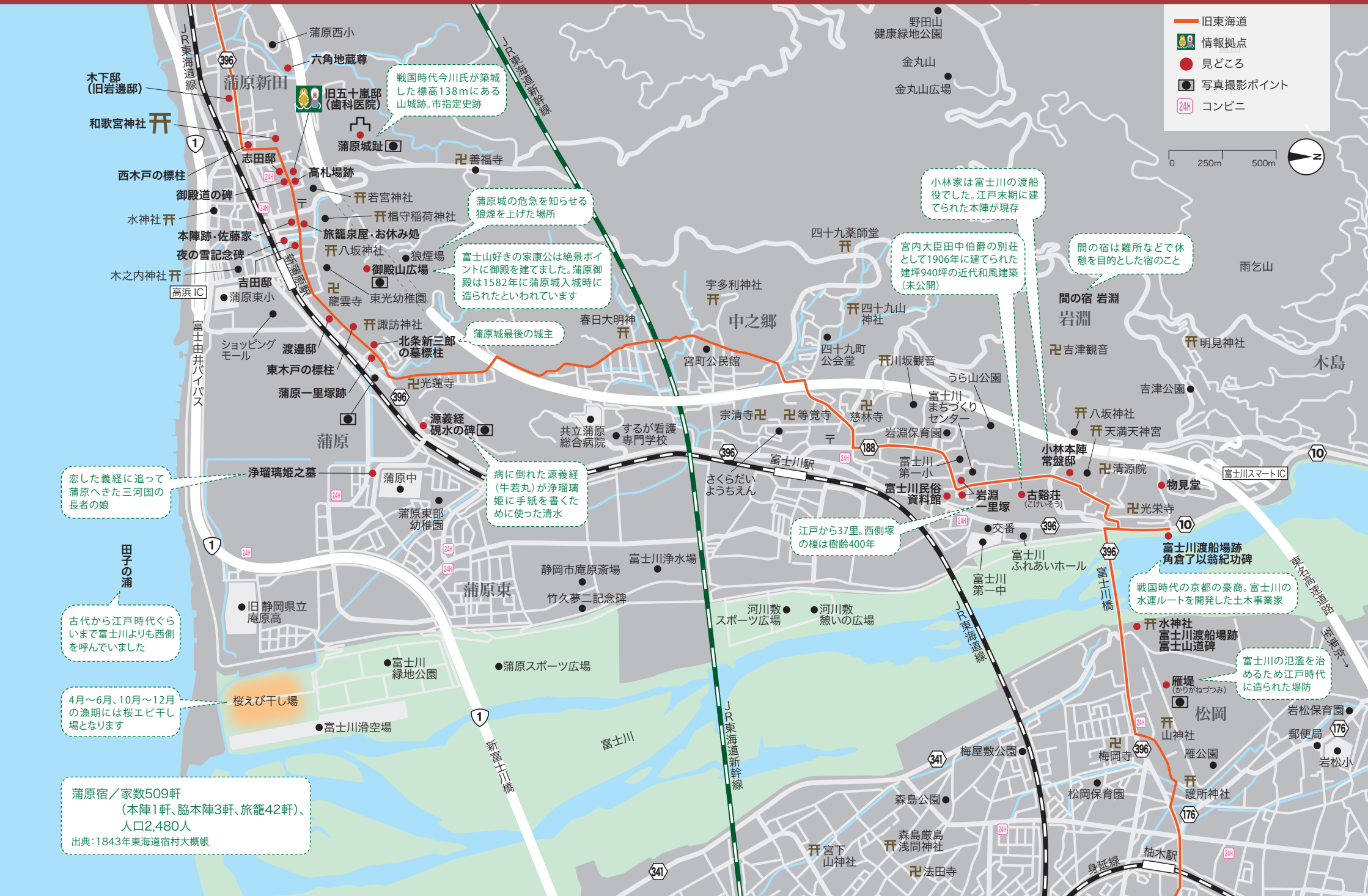
本陣跡
本陣とは大名などの位の高い人の宿泊施設。長い黒塀が町のアクセントになっています。

旧五十嵐邸
大正時代に町屋を洋風に改修。1階は町屋の和風で2階は当時めずらしいガラス窓をふんだんに使った診察室です

木下邸（旧岩邊邸）
宮内大臣田中伯爵の訪問者の待合を担っていた旧家。戦後、延べ1万3千人もの外国人旅行者を受け入れていました

和歌宮神社
1300年前に創建され、祭神は山部赤人と富士山と桜の神、木花開耶姫命。古代より富士川より西を「田子の浦」と呼んでいました

渡邊邸
木材を扱うので屋号は「木屋」。1839年、江戸末期の3階建て土蔵には3000点以上の古文書が保存されています

志田邸
醤油を醸造し、屋号は「やまろく」。平安時代から使われている日本古来の建具「蔀戸（しとみど）」が現存しています

蒲原宿 江戸、明治、大正、昭和の建物が残る宿場